



2026年度 地域課題研究公募要領

 公立大学法人 新潟県立看護大学
看護研究交流センター 地域課題研究開発部門

目 次

公募要領	3
看護研究における研究倫理チェックリスト	6
各様式の作成要項	7
様式 1 研究の動機	9
様式 2-1 研究助成交付申請書	10
様式 2-2 研究計画書	11
様式 3-1 研究報告書	13
様式 3-2 研究成果報告書	14
様式 4 申請内容変更届	15
様式 5 辞退届	16
参考 地域課題研究テーマの紹介	17
参考 新潟県立看護大学 領域・科目群別専任教員	18

“看護場面で感じている疑問” や “解決したいと考えている課題” をお持ちの看護職の皆様へ！

「研究は難しく一步が踏み出せない」
「どう取り組んでよいかわからない」
「研究計画書の書き方がわからない」
「収集しているデータを活用するにはどうすればよいか？」
「もっと根拠を深める研究に取り組みたい」

このような疑問や課題に対して、本学教員が共同研究者として

看護研究の “プロセスをサポート” します！
本学教員とともに一緒に取り組んでみませんか



«2026年度地域課題研究 進行スケジュール»

※提出する書類

※様式1 研究の動機

※様式2-1 研究助成交付申請書
※様式2-2 研究計画書

※様式3-1 研究報告書
※様式3-2 研究成果報告書

申込

研究計
画書作成

研究実施

研究報告
成果発表

応募期間
2025/9/1～11/21

提出締切
2026/3/6

実施期間
2026/4/1～2027/9/30

提出締切 2027/9月中旬
研究成果発表会
2027/10月中旬

2025/12/23(火)13:30～
研究オリエンテーション

* 研究発表後、新潟県立看護大学看護研究交流センター活動報告書に掲載、本学リポジトリにて公開

公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター 2026年度地域課題研究公募要領

新潟県内の看護実践に携わる看護職による地域課題研究を公募します。

I 公募要旨

当大学看護研究交流センターは、新潟県内の保健・医療・福祉の分野で看護実践に携わる看護職を対象に、看護実践上の問題や課題解決に向けた研究を公募し、看護職と本学教員が共同で取り組み、看護実践現場における看護研究の活性化ならびに看護実践の質の向上に寄与することを目的としています。また、地域課題研究の助成を行っています。

II 応募について

1. 応募・申請等の条件

- 1) 申請者（研究代表者） および 共同研究者は、新潟県内において看護実践に携わる看護職（看護師・助産師・保健師）とする。大学院生はいずれも対象外とする。
- 2) 本学教員（教授、准教授、助教）が共同研究者となることを条件とする。
- 3) 助成費の予算執行管理等は、本学共同研究者が担うことを条件とする。

2. 募集テーマ

看護実践上の問題・課題に関する研究課題テーマであること

3. 研究助成額

一研究課題につき 10 万円を上限とする

4. 研究期間（助成期間）

2026年4月1日（水）～2027年9月30日（木）

5. 公募期間

2025年9月1日（月）～11月21日（金）正午 期日厳守

6. 提出先・問い合わせ先

提出先 公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター
および 〒943-0147 上越市新南町 240 番地
問合せ先 TEL・FAX : 025-526-2822 (平日 9:30～16:00)
E-mail : nirin@niigata-cn.ac.jp

応募方法 「**様式 1 研究の動機**」に必要事項を記載し、看護研究交流センターのメールアドレス nirin@niigata-cn.ac.jp 宛てに Word データで添付送信する

※ **様式**は看護研究交流センターホームページ (<https://www.nirin.jp>) の地域課題研究から**ダウンロード**し、所定の**様式**を使用すること。その他の**様式**についても同様とする。

III 応募～研究実施・報告までの流れ

1. 申込

応募期間	2025年9月1日（月）～2025年11月21日（金） <u>正午</u> 期日厳守
様式	様式1「研究の動機」
提出方法	看護研究交流センター nirin@niigata-cn.ac.jp 宛てに <u>Word</u> データで添付送信

- ・様式1の提出をもって地域課題研究の申込みとする。 7ページの作成要項を参照し記載する。

2. 研究採択の通知

- ・応募および申請条件を基準に審査を行う。
 - *一施設につき3テーマを上限とし、同一研究代表者の申請は1題とする。
 - *過去に本学の地域課題研究の助成を受けていない研究代表者を優先する。
- ・本学の選考教員による審査の後、本学の共同研究者となる教員を選定した上で、研究代表者へ採択の通知を行う。
- ・採択の通知を受けた研究代表者は、下記のオリエンテーションに参加し、進行スケジュールを確認する。

◆2026年度地域課題研究オリエンテーション開催	
開催日時	2025年12月23日（火）13:30～14:30
開催方法	オンライン
内 容	研究の進め方、進行スケジュール等

3. 研究助成交付申請書・研究計画書の提出

提出期限	2026年3月6日（金） <u>正午</u> 期日厳守
様式	様式2-1「研究助成交付申請書」 様式2-2「研究計画書Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」
提出方法	看護研究交流センターに <u>持参</u> または <u>郵送</u> （期日必着）

- ・共同研究者である本学教員の指導を受け、7ページの作成要項を参照して記載する。
- ・様式2-1の研究助成交付申請者は研究代表者とする。
- ・様式2-2のⅠ研究組織、Ⅱ研究計画（研究の目的、研究計画の概要・研究方法、倫理的配慮）
Ⅲ研究経費（研究遂行に必要な経費）を記載する。
- ・様式2-1および様式2-2の提出をもって研究助成交付申請とし、本学の選考教員による審査を行う。

4. 研究助成交付の通知

- ・本学の選考教員による審査の後、助成交付が承認された研究代表者へ通知を行う。

5. 研究期間（助成期間）

研究期間（助成期間） 2026年4月1日（水）～2027年9月30日（木）

- ・ただし、学会発表・論文投稿に関する経費の申請は、2028年3月31日まで利用可能とする。
また2027年10月に本学で行う研究発表会に掛かる交通費は利用可能とする。
- ・原則として研究代表者の所属施設の倫理委員会の承認を受けて研究を実施する。所属施設に倫理委員会が設置されていない場合は、本学の倫理委員会の審査を受ける。
- ・助成金の利用については、別冊「**地域課題研究 研究助成金の手続き方法**」を参照して申請する。
- ・経費執行の前に、使途について本学共同研究者の確認を受ける。
- ・研究期間（助成期間）の延長は、理由が認められた場合に限り1年とする。

6. 研究成果の報告

提出期限 2027年9月中旬予定

様式 様式3-1「研究報告書」、様式3-2「研究成果報告書」

提出方法 看護研究交流センター nirin@niigata-cn.ac.jp 宛てに Word データで添付送信

- ・研究助成を受けた義務として「研究報告書」および「研究成果報告書」を提出する。様式3-1および3-2の記載は、8ページの作成要項を参照する。※様式3-2は研究発表会の抄録を兼ねている。
- ・報告書は研究終了年度の看護研究交流センター活動報告書に掲載し、本学リポジトリで公開する。

7. 研究成果の公表（研究発表会）

日 時 2027年10月中旬（土）予定

- ・研究成果は、本大学で行う地域課題研究・上越地域看護研究 同日発表会で公表する。
- ・学会発表および論文投稿による公表は、本学で行う研究発表会後とする。
- ・会場参加者およびオンライン参加者に、資料として抄録（研究成果報告書）を配布する。

8. 変更・辞退の届出について

1) 研究申請内容の変更

助成交付決定後、申請代表者、所属機関、研究メンバー、テーマ、方法等に変更が生じた場合は、速やかに**様式4「申請内容変更届」**と**様式2-2「研究計画書」**を提出する。※様式2-2の変更後の内容は赤字で記載する。

2) 研究の辞退

助成交付決定後、研究を継続できない事態が生じた場合は、本学共同研究者の了承の上、**様式5「地域課題研究辞退届」**を看護研究交流センターに提出する。なお、届出までに執行した助成金の全額は本大学に返還する。

看護研究における研究倫理 チェックリスト

看護研究における倫理的配慮および看護研究倫理審査に提出する際は、下記の項目を参考にして確認する。

基本的な項目

- 人権の擁護に配慮がなされているか
- 個人の尊厳および自由意思の尊重について配慮されているか
- 個人のプライバシーは守られているか（個人情報や秘密の保持など）
- 研究の内容や手順が適切に理解できるような配慮がなされているか
- 研究による不利益を軽減する配慮がされているか
- 安全性に対する配慮がなされているか
- 科学的・倫理的妥当性が認められる研究であるか

研究計画書

- 研究対象者の選定は適切か（特に安全性や危険性など）
- 研究者以外の人に個人情報が特定できないような配慮がなされているか
- 匿名化の方法は明記されているか
- 研究協力が対象者の自由意思に基づいているか
- 質問に対しての回答や、研究の一部の参加を拒否できる配慮がなされているか
- 研究対象者の責任・判断能力に応じて、代理意思決定者の同意を得る方法は明示されているか（小児、意識障害、せん妄患者など）
- 調査内容は研究目的の遂行上、必要不可欠と認められるもののみに限っているか
- 調査内容は研究対象者に理解しやすい記述になっているか
- 研究によって得られる利益（協力者・社会）と不利益のバランスが検討されているか
- 予測される研究対象者の不利益・不自由・リスク等を最小にする方法が検討されているか
- 実験研究・準実験研究・介入研究等で、対象者に事故が発生する可能性のある場合は、対象者への賠償が可能な保険に加入しているか

研究依頼書・同意書

- 依頼内容は、研究の目的・内容や手順に関して適切に説明されているか
- 研究で得られた個人情報については、この研究の目的以外に使用しないことが記されているか
- 研究対象者あるいは社会が得る利益などについて説明されているか
- 研究対象者は自由に撤回や辞退ができ、それでも後に不利益になることは全くないことが説明されているか
- 研究対象者からの質問には必ず回答する準備があることが説明されているか
- 研究結果の公表方法と、研究対象者および対象施設へのフィードバックの方法、個人のプライバシーがどのように守られているかについて説明されているか
- 予想される精神的・身体的な負担に対する対処方法が具体的に説明されているか
- 依頼書には、研究者の氏名や所属、連絡先が明記されているか
- 同意書には、同意内容、日付および研究対象者の署名欄が記されているか
- 研究依頼書には、職位に応じて依頼内容を明確にしているか
- 診療録からの情報収集は、研究対象者の同意および施設長の許可を得ることが記されているか
- 診療録からの記録の利用や、録音、録画をする場合は同意内容に記されているか

（出典）クリティカルケア看護学会. (n.d.). 倫理審査手順 看護研究倫理チェックリスト.

（閲覧日：2024年4月11日）

IV 各様式の作成要項

【研究の動機 作成要項】 **様式 1**

1. 研究テーマ（仮）は、副題を含めて 60字以内とする。
2. フォントは MS 明朝、10.5 ポイント、余白は上下左右 20mm、行間を調整し 1ページに収める。
4. 本学共同研究者について
 - ・本学共同研究者として希望する教員または希望する領域がある場合は、教員名または領域を記載する。※18 ページの「新潟県立看護大学 領域・科目群別教員」を参考にする。
 - ・教員の了承を得ている場合は、その旨を記載する。同一教員への希望が重なった場合は、他の教員になることがある。
 - ・特に希望がない場合は、希望なしと記載する。本学の人選により決定する。

【研究助成交付申請書、研究計画書 作成要項】 **様式 2-1** **様式 2-2**

1. 記載について
 - 1) フォントは MS 明朝、10.5 ポイント、余白は上下左右 20mm とし、11・12ページの記載例を参考にする。
 - 2) **様式 2-2 の「I 研究組織・II 研究計画」は 2ページ以内、様式 2-2 の「III 研究経費」は 1ページ以内に収める。** それぞれ行間を調整して記載する。
 - 3) 研究テーマは、副題を含めて 60字以内とする。
 - 4) 様式 2-2 の「I 研究組織の所属欄」は、研究計画書作成時点の所属施設、職位を記載する。
 - 5) 本学の共同研究者が複数名の場合は、学内責任者を上段に記載する。
2. 研究計画書の記述について
 - 1) 研究目的（研究の背景）
 - ・研究課題の動機、関連する先行研究で明らかになっていること、この研究で何を明らかにしようとしているのか等を記述する。
 - ・予想される結果が、看護実践や看護の質向上にどのような利益がもたらされるのか、この研究の意義等を記述する。
 - 2) 研究計画の概要
 - ・研究の目的を達成するための研究計画、方法を記述する。
 - ・研究方法の種類、研究の対象・場所、データ収集方法、分析方法等を記述する。
 - ・共同研究者の各々の役割がわかるように記述する。
 - 3) 倫理的配慮

研究の遂行にあたり、必要とされる倫理的配慮を記述する。6ページの「看護研究における研究倫理チェックリスト」を参考にする。

3. 研究経費について

- 1) 助成額の上限は 10 万円とし、旅費は申請額全体の 6 割を超えない範囲とする。
- 2) 研究計画に基づき、研究を遂行するための経費について、12 ページの記載例を参考にして使途区分別に記載する。

【研究報告書、研究成果報告書 作成要項】

様式 3-1

様式 3-2

1. 様式 3-1 の記載について

- 1) フォントは MS 明朝、10.5 ポイントとする。
- 2) 「5. 研究助成金執行報告」の執行額の欄は未記入でもよい。
- 3) 「6. 研究成果の公表」の文字数は 100 字以内とする。

2. 様式 3-2 の記載について

- 1) 14 ページの記載例を参考にして記述する。
 - ①横書き、現代かなづかい、フォントは MS 明朝、余白は上下左右 20mm とする。
 - ②英数字のフォントは Century、欧米文字・数字は半角文字に統一する。
 - ③句読点は 、コンマ と 、ピリオド に統一する。
 - ④表題のテーマは 12 ポイント、研究者名・所属施設名・キーワードは 10 ポイントとする。
 - ⑤外国人名、地名などは原綴を使用、度量衡の単位は国際単位の標記を使う。
 - ⑥図表の文字サイズは最低 8 ポイントとする。
- 2) キーワードは 3~5 個の範囲とする。
- 3) 本文は 10 ポイント、文字数は 1200 字から 1800 字、行間の調整を行い 1 ページに収める。
- 4) 本文は【研究目的】【研究方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】【利益相反】の順に記述する。
- 5) 利益相反として、「20〇〇年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究助成を受けて実施した。」の文言を記載する。

参考

研究助成選考基準

1. 申請書類は所定の様式、要項に沿って作成されている
2. 研究の目的が明確である
3. 研究方法は妥当かつ実現可能である
4. 研究方法に倫理的問題がない
5. 研究計画に基づき研究経費の申請内容が妥当である

(引用・参考) 一日本看護科学学会和文誌編集委員会査読ガイドライン平成 29 年 9 月 10 日改正一

様式1 研究の動機

新潟県立看護大学看護研究交流センター

2026年度地域課題研究申込書 研究の動機

申込年月日 2025年 月 日

申込者 氏名		職種	
所属施設 名称			
所在地	〒		
電話番号			
メールアドレス (連絡可能なアドレス)			

※MS 明朝、10.5 ポイント、余白上下左右 20 mm、1 ページ以内、その他作成要項参照

1 研究テーマ (副題を含め 60 字以内)	
2 研究の動機・理由 (行動を起こすきっかけ となった原因や理由)	
3 研究方法 (現時点を考えている 方法)	
4 研究体制 ※共同研究者の氏名・職種・ 所属先を記載 ※研究代表者及び共同研究 者は看護職に限る	
5 希望する本学共同研 究者または領域 ※特に希望がない場合は <u>希 望なし</u> と記載	

新潟県立看護大学看護研究交流センター
2026 年度地域課題研究助成交付申請書及び誓約書

2026 年 月 日

公立大学法人新潟県立看護大学
看護研究交流センター長 様

研究申請者

研究代表者

所属施設 ※正式名称を記載

所属部署

所在地

電話番号

メールアドレス

本学共同研究責任者

氏 名



この度、下記の研究課題テーマで別紙研究計画書のとおり、地域課題研究助成交付の申請をします。

記

課題研究テーマ 「 」

誓約書

私は、2026 年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究助成を受けるにあたり、下記の義務等を理解し、研究を遂行することを誓います。

1. 公立大学法人の助成を受けた者として適正かつ責任ある行動を取る。
2. 研究終了時に地域課題研究報告書を提出する。
3. 研究成果の公表について、本学で行う地域課題研究発表会で発表する。

2026 年 月 日
研究代表者氏名 _____

新潟県立看護大学看護研究交流センター2026年度地域課題研究 研究計画書

提出年月日 2026年 月 日

課題研究テーマ (太字) 「 」

不採用時の評価の開示について※番号に○をつける 1. 希望する 2. 希望しない

※MS 明朝 10~10.5 ポイント、余白上下左右 20mm、その他作成要項・記載例参照

	ふりがな 氏名	所属施設・所属部署・連絡先	職位(役職)
研究代表者		○○病院 ○○病棟 ×××-×××-×××	例) 副看護師長
共同研究者 ※代表者と別施設の場合は、氏名・所属施設・部署・連絡先を記載		同上 ○○病棟	例) 主任看護師
		△△病院 ○○病棟 ×××-×××-×××	例) 看護師
		領域 :	共同研究者の人数により、行を追加または削除して調整する
本学共同研究者 ※責任者を上に記載		領域 :	

II. 研究計画

※MS 明朝、10.5 ポイント、余白上下左右 20 mm、本ページを入れて 2 ページ以内に収める。その他作成要項参照

【研究の目的】
【研究計画の概要】 (研究計画・方法)
【倫理的配慮】

III. 研究経費

研究代表者氏名 ○○ ○○○計算間違いが
ないか確認

※MS 明朝 10.5 ポイント、1 ページ以内に収める

使途区分	品名・単価・数量(税込)	金額(税込) (単位:円)	必要理由
旅費	例) ○○病院—県立看護大学(車) 往復 距離○km × 22 円 + 高速代金○○○円 × ○回 学会参加交通費(○○県) 鉄道往復	○○○○○ ○○○○○	研究打ち合わせ 第○回○○○学会
		各小計の千円以下は切り上げ	
		小計○○○○○	
需用費	例) 学会参加費○○○○○円 × ○人 A4 コピー用紙 単価○○○円 × ○個 書籍代 単価○○○○円 × ○冊 USB メモリ 単価○○○○円 × ○個	○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○	第○回○○○学会で発表 質問調査に使用 研究の参考文献、参考書 データの保存、持ち運び
		小計○○○○○	
役務費	例) 郵送料 切手 110 円 × ○通 データ入力委託 時間単価○○○○円 × ○時間 + 交通費	○○○○○ ○○○○○	研究調査に使用 研究時間の確保
		小計○○○○○	
報償費	例) 講師謝礼金	○○○○○	研究方法として外部講師を招いて研修会開催
		小計○○○○○	
合計金額		100,000 円	※税込、各小計の合計(千円以下は切り上げ)

新潟県立看護大学看護研究交流センター
2026 年度地域課題研究助成による研究報告

提出年月日 2027 年 月 日

1. 課題研究テーマ

2. 研究代表者、所属施設

氏名〇〇 〇〇 〇〇〇病院 ※正式名称

3. 共同研究者、所属施設

氏名〇〇 〇〇 〇〇〇病院 ※正式名称

氏名〇〇 〇〇 〇〇〇病院 ※正式名称

4. 本学共同研究者

氏名〇〇 〇〇 公立大学法人新潟県立看護大学

氏名〇〇 〇〇 公立大学法人新潟県立看護大学

5. 研究助成金執行報告 ※未記入でも可

(単位円)

予算額	100,000 円				
執行額	旅費	報償費	役務費	需用費	合計

6. 研究成果の公表

※100 字以内、学会発表や論文投稿、所属施設で開催する研究発表会等、本学の研究発表会後、予定しているものを記載する。

記載例)

〇〇における〇〇に関する研究

新潟花子¹⁾ 上越花子²⁾ 大学花子³⁾

1) 新潟県立〇〇病院 2) 医療法人〇〇会〇〇病院 3) 公立大学法人新潟県立看護大学

キーワード：〇〇〇, △△△, □□□

- ・研究テーマ 12 ポイント
- ・研究代表者、共同研究者、本学共同研究者（責任者を先に記載）の順に記載 10 ポイント
- ・キーワード 10 ポイント
- ・本文は MS 明朝、10 ポイント、余白上下左右 20 mm、1200 字から 1800 字とし、行間の調整を行い 1 ページ以内に収める。
- ・8 ページの作成要項を参照して記述すること。

【目的】

【方法】

【倫理的配慮】

【結果】

【考察】

【結論】

【利益相反】 20〇〇年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究助成を受けて実施した。

新潟県立看護大学看護研究交流センター2026年度地域課題研究 申請内容変更届

20〇〇年 月 日

公立大学法人新潟県立看護大学
看護研究交流センター長 様

研究申請者（研究代表者）

氏 名
所属施設

本学共同研究責任者

氏 名

このたび、申請内容を変更したので報告します。

記

研究課題テーマ 「 」

1. 変更内容

該当する項目に✓を入れ、右側に変更内容を記載する。

- 研究テーマ
- 研究代表者
- 共同研究者
- 研究経費
- 研究方法
- その他

2. 変更理由

3. 以下の様式を添付する。

様式2-1または様式2-2に、変更する内容を赤字で記載し、用紙の右上に**申請内容変更届**と追記し、提出する。

新潟県立看護大学看護研究交流センター2026年度地域課題研究 辞退届

20〇〇年 月 日

公立大学法人新潟県立看護大学
看護研究交流センター長 様

研究申請者（研究代表者）

所属施設
職種
氏名 印

本学共同研究責任者

氏名 印

この度、来る 年 月 日をもちまして、地域課題研究を辞退します。

<理由>

— 参考 — (*は現在進行中の研究を示す)

年度	研究代表者	所属	本学共同研究者	研究テーマ
二〇一五年度地域課題研究	*立川由紀子	見附市立病院	石岡幸恵	地域施設の協力医療機関としての病院における看護師の緩和ケアに関する認識と課題
	*大家あづさ	南魚沼市民病院	谷内田潤子	弾性ストッキングの着脱方法に関する看護師の知識と実践の実態調査
	*山田希	長岡赤十字病院	石田和子	がん治療への期待が強い患者へ最期まで本人らしく生きることを支える看護
	*早川由紀美	長岡赤十字病院	相澤達也	急性心筋梗塞により緊急PCIを受けた患者の体験～病名告知からIVR室退室までに焦点をあてて～
	*武田織枝	吉岡内科クリニック	小林綾子	A地域における災害時の糖尿病療養支援に携わる看護師の役割
	*傳谷典子	介護老人保健施設サンプラザ長岡	小長谷百絵	高齢者施設に勤務する医療・福祉職のストレスに関する研究
	*田中浩之	新潟県立中央病院	伊豆上智子 岡村典子	上越圏域の看護管理者が、各施設の枠を超えて地域の課題に取り組むことが可能となった要因
	*柳森弥生	新潟病院附属看護学校	岡村典子	腰痛のない看護師が取り組んでいる具体的な腰痛予防対策の実態
	*丸山芽吹	さいがた医療センター	大久保明子 野澤祥子	アドバンス・ケア・プランニングに関する看護師の認識と課題
二〇一四年度地域課題研究	*村越結衣	長岡赤十字病院	樺澤三奈子	化学療法を受ける肺がん患者の在宅における感染予防行動の実態と行動の動機に関する研究
	*星野貴美子	長岡赤十字病院	小林宏至 大久保明子	NICU入院児の母親が抱く授乳や搾乳時の不快感の現状と課題
	*源川雅斗	長岡赤十字病院	小林綾子	顎矯正手術を受け術後顎間固定を受けた患者の術前の思いと手術に向けた看護介入の検討
	*水澤真由美	新潟県立中央病院	岡村典子	看護提供方式による新人教育への影響
	*霜田章子	上越総合病院	船山健二 永吉雅人	外来看護業務量データに基づいた外来人員配置の検討
二〇一三年度地域課題研究	大澤寿子	新潟県立柿崎病院	関睦美	看護師の退院支援モデル活用の効果と課題～退院支援モデルを活用した教育的プロセスの効果について～
	佐藤七重	豊栄病院豊栄訪問看護ステーション	前川絵里子 高林知佳子	神経難病療養者を担当する介護支援専門員が訪問看護師に期待すること
	志賀木綿子	総合リハビリテーションセンターみどり病院	原等子	民生委員・児童委員が捉える認知症の早期発見、早期受診に向けた支援
	瀧澤いずみ	新潟信愛病院	山岸美奈子 永吉雅人	A県内の病院に勤務する看護師の臨床における看護研究活動の課題と効果的な支援の検討
	外川友子	長岡赤十字病院	相澤達也	A病院救急病棟看護師の臨床看護実践の状況における携帯用擦式アルコール消毒薬による手指衛生の認識
	箕輪明美	長岡赤十字病院	石田和子	乳房再建手術における前頸部皮膚障害予防への取り組み～統一された看護を実施するために～
	*柳澤美直代	藤田企画グループホーム癒しの家	東條紀子	認知症対応型共同生活介護における医師不在時のICTを活用した遠隔看取りの実際

— 新潟県立看護大学 領域・科目群別専任教員 — (2025年4月時点の助教以上)

領域	科目群	職名	氏名
人間環境科学	社会科学	准教授	渡辺 弘之
		准教授	徐 淑子
	情報科学	教授	中村 義実
		准教授	永吉 雅人
		准教授	エルダトン・サイモン
自然科学	生物・医学	教授	堀江 正男
		教授	石井 角保
		准教授	葛城 美徳
基礎看護学	看護管理学	教授	伊豆上 智子
	基礎看護学	教授	岡村 典子
		講師	川島 良子
		助教	谷内田 潤子
		助教	山岸 美奈子
		助教	池田 よし江
臨床看護学	成人看護学	教授	石田 和子
		教授	高柳 智子
		准教授	樺澤 三奈子
		准教授	小林 綾子
		講師	横川 史穂子
		講師	石岡 幸恵
		助教	相澤 達也
		助教	坂田 智佳子
		助教	杉山 潤
	小児看護学	教授	大久保 明子
		准教授	山田 恵子
		助教	野澤 祥子
		助教	小林 宏至
	母性看護学・助産学	教授	常盤 洋子
		准教授	増澤 祐子
		講師	八巻 ちひろ
		助教	上田 恵
		助教	五十畠 麻奈美
		助教	黒崎 美月
		助教	塚田 文枝
地域生活看護学	老年看護学	教授	小長谷 百絵
		准教授	原 等子
		講師	東條 紀子
		助教	大倉 由貴
		助教	青山 拓夢
		助教	金井 香織
	精神看護学	教授	谷本 千恵
		講師	船山 健二
		助教	伊藤 ひかる
	地域看護学	教授	高林 知佳子
		准教授	野口 裕子
		准教授	関睦美
		講師	前川 絵里子
		助教	久保野 裕子

申し込み・問い合わせ



公立大学法人
新潟県立看護大学 看護研究交流センター

〒943-0147 新潟県上越市新南町 240 番地

TEL・FAX 025-526-2822 (受付時間 平日 9:30~16:00)

メールアドレス nirin@niigata-cn.ac.jp

ホームページ <https://www.nirin.jp/>

